

理事会便り

第5回 常任理事会議事録

- 日時 昭和35年9月27日(水) 14.00~15.00 決議 1. 日中学術交流派遣団に当学会からは神山, 松本両理事を推せんすることになった。
- 場所 東京管区気象台長室 2. 日中学術交流に関する要望書は内容一部検討の上出すことになった。
- 出席者 正野, 桜庭, 岸保, 有住, 松本, 磯野, 今井, 根本, 神山, 吉武, 淵各理事(順序不同)

第6回 常任理事会議事録

- 日時 昭和35年10月8日(土) 11.00~14.00 決議 1. 大会2日目の午後藤田氏に「最近のメソ気象学」について講演依頼を交渉することとなった。
- 場所 神田一ツ橋 学士会館 2. 定款改正については次回に再検討することとなった。
- 出席者 神山, 磯野, 吉武, 岸保, 松本, 根本, 桜庭, 今井, 島山, 正野, 和達, 淵各理事(順序不同)
- 決議 1. 大会2日目の午後藤田氏に「最近のメソ気象

第7回 常任理事会議事録

- 日時 昭和35年11月5日(土) 11.00~
- 場所 神田一ツ橋 学士会館
- 出席者 島山, 吉武, 松本, 桜庭, 根本, 有住, 神山, 淵各理事(順序不同)
- 決議 1. 日中学術交流の派遣費用の募金には, 国際学術交流委員会が当ることとなった。
2. 秋季大会の座長を次のとおりお願いすることとなった。

		第1会場	第2会場
第1日 (11月17日)	午後(前半) 午後(後半)	荒川秀俊 肥沼寛一 伊藤博	伊東疆自 大田正次 高橋喜彦
第2日 (11月18日)	午後(特別講演)	高橋浩一郎 荒川秀俊	井上栄一
第3日 (11月19日)	午後	石井千寿	水野長輝

気象界消息

1. 国際通信課誕生

北半球気象資料の国際交換が重要となり, 11月1日づけの政令で, 気象庁予報部に国際通信課が設置された。その所掌事務は, ニューデリー回線およびホノルル回線によって行なう北半球気象資料の国際交換の通信, ホノルル回線によって行なう航空気象報の対米通信, ならびに航空気象無線(JMB), および府中回線によって行なう在日米軍に対する通信である。

2. 宗谷丸出発

宗谷丸は, 第5次南極観測のため, 11月12日に東京港を出帆した。第5次の高層気象観測は, 第4次の180回に比べ400回と観測回数をふやし, また新たにオゾン観測も行なう。

気象関係の隊員は, 守田康太郎(副隊長), 清野善兵衛, 鈴木信雄, 三枝隆次, 坂口威(以上越冬組), 田島成昌, 宮下伊喜彦, 榎本文夫(以上宗谷乗組)の諸氏で

ある。

3. 10月10日に東パキスタンを襲った台風

ベンガル湾の奥, ガンジス河の下流域にある東パキスタンに, 10月10日サイクロン(インド洋の台風をサイクロンという)がおそい, 毎秒35メートルの暴風が吹き, 高汐を起して, チッタゴン, バリサル, ノアカリ地方やベンガル湾海岸の6つの島ジャバー, アミン, ハチャ, バータ, アレクサンダー, ラムガチに大被害を与え, 少なくとも3,000人の死者を出した。この地方の家の85%は倒壊し, 無数の死体が波にさらわれ, 目撃者の言によると, ある小島では200以上の死者が数えられた。この台風は, 南支那海を西進し, 弱まりながら, タイを横断したものらしく, ベンガル湾に入ってから発達しながら北西に向いガンジス河河口で, 東経90度線に沿って北上, その後北東に向かって消滅した模様である。

4. 台風第20号~第25号